

# 地域人財育成委員会事業計画

地域人財育成委員会 委員長 三橋 勝人

私たちの郷土は、先人たちのたゆまない尽力の中で歴史を刻み今日を迎えています。現代では新型コロナウイルスによりニューノーマルが叫ばれるなか、我々の地域でも新しい思考や働き方が求められています。今後の地方繁栄を念頭に、先人たちが紡いできた郷土を次代に適した形でプレゼントできるよう、我々青年経済人を含め地域で暮らす人々にフレキシブルな考え方を伝播し、地域の未来を語ることでできる地域人財育成が必要です。

まずは、メンバーの県東地域の資源に対する視野を広げるために、地域の問題や新しい可能性を探求する勉強会を行うことで、現状の県東地域の問題点を含め、地域の魅力・資源を再確認します。そして、地域の営みや歴史から新たな価値を見出すために、創造力を育成する事業を行うことで、過去と今を取り入れ新たな魅力を引き出すことの出来る人財を育成します。さらに、我々自身が県東地域独自の魅力を生み出すために、学んだ知識から育成状況を検証することで、吸収した意見を基に多角的視点を育みます。また、我々の活動が地域を創造する一歩となるために、地域事業への参画も視野に入れることで、県東地域の人々が更に地域に愛着を持つ事のできる架け橋となります。そして、いつの時代も地域の未来を語る人財が育つために、多くの仲間と語らうツールを用いることで、強くしなやかに時代を生き抜く地域人財に必要な結束力を養います。さらに、次代により良い郷土をプレゼントするために、メンバー間で協議を行い今後の県東地域の活性化に必要なスキルを身につけることで、未来を共に語り創造することのできる地域人財を育成し続けます。

我々が郷土の営みや歴史から新たな価値を創造していくなかで地域を深く理解し、発信できる力を身につけた地域人財となったメンバーで溢れることが、郷土にとって大きな波となり、いつの時代も次代へ紡ぎ続ける大きな連鎖を巻き起こし続けるLOMとします。

## <事業方針>

1. 地域の未来を創造する地域人財の育成
2. 可能性を高める機会の創造
3. 事業で魅せる会員拡大
4. 全国大会とちぎ宇都宮大会の成功に向けて協力